

あとがき

臨床眼科 3月号がお手元に届く頃は、新型コロナウイルスに対するワクチン接種が日本でもそろそろ開始される頃でしょうか。昨年の緊急事態宣言の後に一時的に下火になったかと思われた感染者数ですが、その後の第2波と第3波の感染者数の大幅増加をみると、人間の油断と楽観がコロナウイルスに上手くつけ込まれているかの様相を呈しています。逆を言えば、人間は他人との交流や社会との関係性をこよなく愛する種族なのであるとも言えるのではないのでしょうか。それが感染症で制限されることが多くの人にとって苦痛であることは新発見でした。そして、なぜか今冬はインフルエンザの流行の声を聞かないのも、マスク着用や手指洗浄、三密回避といったコロナ対策がインフルエンザにも特効的に予防効果があることなのかもしれません。そう言えば、EKCも私は1年以上お目にかかっていませんが、同様な傾向があるのでしょうか。

その辺の解析は専門家にお任せするしかありませんが、一方で本誌に目を転じますと今月も新発見が満載です。佐々木洋教授の第74回日本臨床眼科学会特別講演の「白内障：予防と治療への新しいアプローチ」では白内障が今後の温暖化による外気温の上昇とともに発生率が上昇する可能性が論じられていますし、白内障発症を予防できるかもしれない薬物の研究も進んでいるとのことで、それが実現すれば世界の失明者数の大幅な減少が見込めることになります。連載「国際スタンダードを理解しよう！ 近視治療の最前線」では、稗田牧先生の「小児の近視の進行抑制」と題するアトロピン点眼による近視進行予防効果の解説も非常に興味深い内容です。小児期での近視進行予防は緑内障、網膜剥離、黄斑変性、黄斑萎縮など、壮年期や老年期の眼疾患の予防にもつながります。両者はいずれも「俯瞰的、総合的」な視点から見て、疫学上非常に重要な意義のある課題です。さらに、「Clinical Challenge」も頭の体操と知識の整理には格好の症例が記載されており、毎月眼が離せそうにありません。

(中澤 満)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅義三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭	寺崎浩子	下村嘉一			
編集委員	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	稲谷 大	井上幸次	堀 裕一	

臨床眼科 (第75巻 第3号)

2021年3月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,080円 (本体 2,800円 + 税 10%)

(2021 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担))
冊子版 44,154 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子 + 電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2021, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 松井・山本・安部